

ドクターNAKAMURAの 健康道場



Vol.63 職場復帰の 難しさ

「ねえ。どうするんすか？」

玉木が山下に尋ねる。

「何がじゃ？」

「何がじゃやないでしょ。明日、古川さんが復帰するんですよ。4カ月ぶりですよ。」

肺癌治療のために4か月間休職していた古川が明日職場復帰する。

「山下さんは古川さんの代理で今、主任代理をしているんですよ。」

「そうや。」山下が油のしみ込んだ作業服で汗を拭う。

「そうやじゃなく。明日古川さんが帰ってくるんですよ。職場配置はどうするんですか？」

「ほんなこと言われたって会社が決めることやろ。」

「今、この現場を仕切っているのは山下さんなんですよ。」

「ほうじゃな。」

「ほうじゃじゃなくて、古川さんの仕事配置をどうするんですか？」

「どうするも何も、あいつがどの程度仕事ができるかによるわな。」

「で、配置はどうするんですか？帰ってきて、窓際族みたいな仕事では本人のプライドが傷つくでしょ。」

「かと言って、元の仕事を任せてもいきなりできるわけないやろ。それこそ本人のプライドがもっと傷つくで。」

「何をこそこそ話し合ってるんですかお二人さん。」

山下と玉木の間に衛生安全委員の志波が割って入ってきた。

「いや、明日、古川が帰ってくるって噂が飛び交っているやろ。帰ってくるのはいいけど、4カ月のブランクを瞬間に埋めつくせるかな〜。取り敢えず、当たり障りのない仕事を回そうかと思っているんやけど、かと言って古川のプライドが傷ついても困るしな〜。それを思案していたところよ。」

「産業医の先生の指示では週3日午前中の勤務だそうです。」

「は〜、週3日！、午前中だけ？わしらの仕事をなめとんのか！そんな埃より太刀が悪いで。埃は居っても邪魔にならんけど、ほけっと突っ立っとなられても邪魔なだけや。」

そよかぜ 循環器内科・糖尿病内科
(県立中央病院 前)

院長 中村陽一